

本紙



暮らしの中の 男女共同参画



わたしたちは、家庭や地域などでさまざまな役割を果たしながら生活しています。性別にかかわらず、誰もがあらゆる場面で活躍できることが男女共同参画社会への第一歩です。

女性が共に協力する
家の掃除や食事の支度、地域の防災、町づくりなど、さまざまな役割を家族や社会のみんなで分担したり助け合ったりすることが重要です。また、そうすることで人同士の絆も強くなり、みんなが過ごしやすい社会になっていきます。

女性の人権を守る
『暴力』『セクハラ』『性犯罪』『ストーカー行為』などは、女性の人権を著しく侵害するもので、決して許されるものではありません。ひとりで悩まずにご相談ください。

女性に対する暴力についてご相談ください。
電話番号(かながわ県庁センター)
045-1313-10745

相談対応時間
平日9時～21時
事業の問い合わせ
かながわ県庁センター
(045-1313-1080)

女性の権利を守る
女性をめぐると人権問題について、ひとりで悩まずにご相談ください。
電話番号(全国統一ダイヤル)
0570-070-810

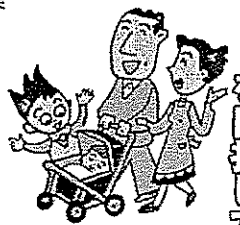
相談対応時間
平日8時30分～19時
※11月22日、23日の土・日も開設します。(10時～17時)
事業の問い合わせ
横浜地方検察局人権擁護課
(045-1641-7926)

問い合わせ
企画政策課企画調整班

本紙



暮らしの中の 男女共同参画



男女共同参画社会とは
日常生活の中で「女性としての役割」「男性としての役割」に縛られていると感じたことはありませんか。いまだに「男は仕事」「女は家庭」といった役割分担意識や思い込みが多いのが現状です。

「男女共同参画社会」とは、男性も女性も性別に関係なく、自分の意思でさまざまな事に取り組んだり、物事の決定の場に加わったりすることです。

男女共同参画社会実現に向けて
町では、平成25年度に「第2次のみや男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会実現に向けて取り組んでいます。

消防協力者へ感謝状贈呈
今年2月の深夜に発生した建物火災の際、迅速な通報で人命救助に貢献された勝呂朱美さん(二宮在住)に、消防協力者として3月10日に感謝状を贈呈しました。

問い合わせ
企画政策課企画調整班

本紙

暮らしの中の 男女共同参画

町では、平成25年度に「第2次のみや男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向け取り組んでいます。

このプランでは、10年後に男性・女性が共に支え合い、協力しながら明るく、心が豊かになるような町づくりを目指しています。

ご利用ください

二宮町男女共同参画シンボルマーク
町では、男女共同参画を推進するためシンボルマークを制定しています。
チラシなどさまざまな場面で積極的にご利用ください。
※詳細はお問い合わせください。

住みよい町をつくるために地域のさまざまな活動には、多くの方々の協力が欠かせません。
計画する段階から、男性も女性も参画しお互いの意見を取り入れることにより、多くの方が地域活動に参加できるようにします。
男女共同参画への意識を高め、地域活動をより一層活性化させましょう。

問い合わせ
企画政策課企画調整班

男女共同参画週間 ～家事場のパパチカラ～

6月23日(月)～29日(日)



を考えよう!

健康で豊かな生活を送るためには、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が重要です。
仕事と生活の両立は、男女共通の課題です。
この機会に自分の生活を見つめ直し、仕事と生活の調和について考えてみましょう。

調和の実現
ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活を共存させながら、持っている能力を十分に発揮し、それぞれが望む人生を生きることを目指すものです。

そのためには、労働時間を短縮する以外にも、次のようなさまざまな就業環境を選択することも1つの手法です。
・フレックスタイム制
・在宅勤務
・長期休業 など

男性と女性が抱いあつた男女共同参画の取り組みは、決して女性のためだけではなく、男性が「男らしさ」の重荷から解放されることも大きな目標です。
男性の長時間労働や家庭での経済的責任の緩和、女性のフルタイム勤務など、男性と女性がお互いに仕事や家事を担いあうことで、それぞれの個性と能力をより発揮することができるようになります。

図書館2階展示コーナーで男女共同について楽しく学べる図書を紹介いたします。
ぜひお立ち寄りください。
6月4日(水) 29日(日)
※図書館の休館日は除きます。

問い合わせ
企画政策課企画調整班

6月23日(月)から29日(日)は「男女共同参画週間」です
「家事場のパパチカラ」
男性と女性が、職場・学校・地域・家庭において、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指しています。この機会に男女のパートナーシップについて考えてみませんか?
企画政策課企画調整班 (内線356)

本紙

お知らせ版